

GIGA第2期で野田市がめざす子どもの姿

個別最適な学びを主体的に選択し、協働学習することで、よりよい未来を切り拓く

【個別最適な学びの推進】

- ☆「ICTを使うかどうかの選択ができる力」の育成
 - ・目的や自分の特性、課題に応じて自分なりの方法を選択する。
- ☆一人一人の習熟度に応じた学習
 - ・AI型学習ドリルの活用

【「教育DX化」の推進】

- ☆「野田市ICTチェックリスト」
 - ・学校の状況に応じたDXとICT活用
- ☆「活用事例のシェアリング」
 - ・教職員1000人で1000以上の事例を共有
- ☆生成AIの効果的活用
- ☆学習eポータル「L-Gate」の活用

【協働的な学びの推進】

- ☆「野田市つながるプラン100」
 - ・他校の児童生徒とオンライン交流等の「交流学习」事例100以上の共有
- ☆ジュニアICTリーダーの活動
 - ・全国の自治体に参加する「Googleパートナー自治体サミット」への参加

【活用推進】

- ☆「Googleパートナー自治体」
 - ・Google×野田市教育委員会レベル別の研修
- ☆「第2期NICTプロジェクト」
- ☆「Noda GIGA net」
- ☆「NODA GIGA WEEK」
- ☆「野田市教育研究会連携」

Moonshot thinking for
NICT

第2期への更新計画

- ・ネットワークアクセスメントの実施
(令和8年度予定)
- ・学習者用端末の入れ替え
(令和8・9年度予定)

Moonshot thinking: 困難だが実現すれば大きなインパクトをもたらす「壮大な挑戦」